**◆年間指導計画例　【２年】**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 領域〈系統〉教材名  ・ページ数・配当時数  （他は他教科との関連） | 学習指導要領との対応  (下線は重点) | 学習目標 | 学習活動例  （＊は指導上の留意点や別案） | 評価規準例  （◎は重点） |
| （4月　3時間） | | | | |
| 読む〈詩（巻頭詩）〉  未来へ  巻頭  1時間 | ［思判表］Ｃ⑴イ  Ｃ⑵イ | ・詩に描かれていることを解釈し，読み方を工夫して音読する。 | １　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。  ２　比喩的な表現も含めて，各連で表されている時の流れに注意して詩の意味を捉え，読み方を工夫して音読する。 | ［思判表］◎「読むこと」において，詩に描かれた言葉の意味などについて考え，内容を解釈している。  ［主］・進んで各連に描かれていることを手がかりに詩の意味を考え，学習課題に沿って，工夫して音読しようとしている。 |
| 読む〈言葉の学習〉  手紙の効用  Ｐ14  2時間  他書写 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｃ⑴オ  Ｃ⑵イ | ・読み取ったことを踏まえ，自分の知識や体験も交えて，考えを広げる。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ14）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　手紙の持つ意味に注意して筆者の考えを捉え，手紙に関する自分の知識や体験を交えて，考えたことを話し合う。 | ［知技］・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，文章を読むことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで自分の知識や体験と結び付けて筆者の考えを捉え，学習課題に沿って自分の考えを話し合おうとしている。 |
| １　言葉を感じる（4～5月　7時間） | | | | |
| 読む〈言語感覚〉  短歌を楽しむ／短歌五首  Ｐ18  2時間 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｃ⑴イエ  Ｃ⑵イ | ・短歌に詠まれた情景や心情を想像し，短歌を読み味わう。  ・短歌の表現の工夫などに注意して，鑑賞したことをまとめる。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ18）や「てびき」の目標（Ｐ22）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　設問①（Ｐ22）に取り組み，三首の短歌について情景や心情を捉え，音読して読み味わう。  ４　設問②に取り組み，「短歌五首」のそれぞれの歌に詠まれている情景や心情を想像したり，気に入った歌を暗唱したりする。  ５　設問③に取り組み，「短歌五首」（あるいは，「扉の短歌七首」を加えた十二首）から一首を選び，表現の工夫などを捉えて，鑑賞したことをまとめる。  ＊「言葉の力　短歌を鑑賞する」を読んで，短歌を鑑賞するときのポイントを理解する。  ＊鑑賞したことをグループやクラスで発表し合うのもよい。  ６　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・情景や心情を表す語句の量を増すとともに，短歌を鑑賞することを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］◎「読むこと」において，短歌に詠まれた情景や心情を想像して，内容を解釈している。  ［思判表］◎「読むこと」において，短歌を比較するなどし，表現の効果について考えている。  ［主］・進んで短歌に詠まれた情景や心情を想像し，学習課題に沿って，表現の工夫などについて鑑賞したことをまとめようとしている。 |
| 書く〈詩歌創作〉  短歌のリズムで表現しよう  Ｐ23  3時間 | ［思判表］Ｂ⑴エ  Ｂ⑵ウ | ・自然や体験を題材に，表現を練りあげて短歌を作る。 | １　教材冒頭（Ｐ23）の問いかけと目標を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　手順①～③（Ｐ23～25）に取り組み，表現を練りあげて短歌を作る。  ＊「言葉の力　表現を練りあげる」（Ｐ24）を読んで，描き方の工夫についてのポイントを確かめる。  ３　「振り返り」（Ｐ25）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［思判表］◎「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，短歌を整えている。  ［主］・表現を練りあげることに粘り強く取り組み，学習課題に沿って短歌を作ろうとしている。 |
| 言葉〈日本語探検〉  話し言葉と書き言葉―おしゃべり星人とふでまめ星人  Ｐ26  1時間 | ［知技］⑴イ | ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 | １　教材（Ｐ26～27）を読んで，話し言葉と書き言葉の違いや，それぞれの特徴が話や文章の中でどのように表れているかを大まかにつかむ。  ２　「まとめ」（Ｐ27）を読んで，話し言葉と書き言葉の違いや，それぞれの特徴について理解する。適宜，漢字を確認する。 | ［知技］◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。  ［主］・進んで話し言葉と書き言葉の特徴について理解し，見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 言葉〈漢字道場〉  形の似た漢字  Ｐ28  1時間 | ［知技］⑴ウ | ・形の似た漢字に注意して，漢字を文や文章の中で使う。 | １　問題①～④（Ｐ28）に取り組み，部首だけが違う形が似た漢字や，全体の形が似た漢字があること，一画の有無が違う漢字になることなどを理解する。 | ［知技］◎形の似た漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使っている。  ［主］・進んで形の似た漢字について理解し，学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 |
| ２　感想を深める（5～6月　14時間） | | | | |
| 読む〈文学一〉  字のない葉書  Ｐ30  3時間  他社会（歴史） | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｃ⑴アイオ  Ｃ⑵イ | ・登場人物の言葉や行動の意味を考えて，作品を読み味わう。  ・作品から読み取ったことをもとに，自分の考えを深める。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ30）や「てびき」の目標（Ｐ34）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　設問①～②（Ｐ34）に取り組み，登場人物の言葉や行動・態度から，人物像や心情を捉え，作品を読み味わう。  ＊「言葉の力　登場人物の言葉や行動の意味を考える」を読んで，登場人物の言葉や行動から心情を捉えるときのポイントを理解する。  ４　設問③に取り組み，大人になった「私」の思いについて想像し，話し合う。  ５　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・人物像を表す語句の量を増すとともに，文章を読むことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］・「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の人物像などを捉えている。  ［思判表］◎「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈している。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで登場人物の言葉や行動の意味を考え，学習課題に沿って，作品から読み取ったことをもとに考えを話し合おうとしている。 |
| 学びの扉／学びを支える言葉の力〈文学的な言葉の力―解釈する力〉  人物像を捉える  Ｐ35／Ｐ242  1時間 | ［思判表］Ｃ⑴ア | ・人物の言動の意味に注意して，人物像を捉える。 | １　教材（Ｐ35）を読んで，京子の行動から人物像を考える。  ２　基「人物像を捉える」（Ｐ242～245）を読んで，人物像の捉え方や多面性について理解を深め，人物の言葉や行動・態度から人物像を捉える。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［思判表］◎「読むこと」において，人物の言動の意味に注意しながら，人物像を捉えている。  ［主］・進んで人物像の捉え方や多面性について理解し，学習課題に沿って人物像を捉えようとしている。 |
| 読む〈文学一〉  辞書に描かれたもの  Ｐ36  4時間 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｃ⑴アイオ  Ｃ⑵イ | ・登場人物の言葉や行動の意味を考えて，作品を読み味わう。  ・作品から読み取ったことをもとに，自分の考えを深める。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ36）や「てびき」の目標（Ｐ44）を確認し，学習の見通しを持つ。  ＊「字のない葉書」と共通の目標であり，前の学びを生かしていくことを確認するとよい。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　設問①～②（Ｐ44）に取り組み，登場人物の言葉や行動・態度から人物像や考え方を捉え，作品を読み味わう。  ＊「言葉の力　登場人物の言葉や行動の意味を考える」（Ｐ34）を参照し，ポイントを振り返るとよい。  ＊前の「人物像を捉える」（Ｐ35／基Ｐ242～245）で学んだことを生かして取り組むとよい。  ４　設問③に取り組み，小説を読んで考えたことをまとめ，話し合う。  ５　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ６　「広がる言葉」（Ｐ45）に取り組み，語感を磨き語彙を増やす。  ＊資「言葉を広げよう―人物像を表す言葉」（Ｐ332～333）を見て，語彙を増やすための参考にするとよい。  ＊この教材に加えて，資「カメレオン」（Ｐ270～275）を読み，人物の言動から人物像を捉える学習を深めるのもよい。 | ［知技］・人物像を表す語句の量を増すとともに，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］・「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定の仕方などを捉えている。  ［思判表］◎「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈している。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで登場人物の言葉や行動の意味を考え，学習課題に沿って，作品から読み取ったことをもとに考えを話し合おうとしている。 |
| 学びの扉／学びを支える言葉の力〈対話的な言葉の力―伝え合う力〉  相手の立場を踏まえ，考えを深める  Ｐ46／Ｐ250  1時間 | ［思判表］Ａ⑴エ | ・相手の立場や考えを理解し，自分の考えを深める。 | １　教材（Ｐ46）を読んで，純平の発言の何がよくなかったのかを考える。  ２　基「相手の立場を踏まえ，考えを深める」（Ｐ250～253）を読んで，自分と相手の考えが異なるときの，相手の考えの受け止め方について理解を深め，相手の立場や考えを踏まえて自分の考えを深める。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，相手の立場や考えを踏まえて自分の考えをまとめている。  ［主］・進んで相手の考えの受け止め方について理解を深め，学習課題に沿って，相手の立場や考えを踏まえて自分の考えを深めようとしている。 |
| 話す・聞く〈聞く〉  考えを比べながら聞こう  Ｐ47  2時間 | ［知技］⑵ア  ［思判表］Ａ⑴エ  Ａ⑵ア | ・相手の考えとその根拠に注意して話を聞き，自分の考えと比べる。 | １　教材冒頭（Ｐ47）の問いかけと目標を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　手順①～③（Ｐ47～49）に取り組み，ある話題に対する複数の発言から，それぞれの考えと根拠を聞き取り，自分の考えと比べる。  ＊「言葉の力　自分の考えと比べながら聞く」（Ｐ49）を読んで，相手の考えと自分の考えとを比べながら聞く際のポイントを確かめる。  ３　問題（Ｐ49）に取り組み，相手の考えとその根拠に注意して話を聞き，自分の考えと比べる。  ４　「振り返り」（Ｐ49）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。  ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。  ［主］・相手の考えとその根拠を聞き取ることに粘り強く取り組み，学習課題に沿って，聞き取った考えと自分の考えとを比べようとしている。 |
| 言葉〈日本語探検〉  敬語―宇宙人「ハテナー」がいらっしゃる？  Ｐ50  2時間 | ［知技］⑴カ | ・敬語の働きや使い方について理解し，話や文章の中で使う。 | １　教材（Ｐ50～51）を読んで，さまざまな種類の敬語が話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつかむ。  ２　「まとめ」（Ｐ51）を読んで，敬語の種類や使い方について理解する。  ３　資「敬語のまとめ」（Ｐ306）を読んで，敬語の種類や使い方について理解を深める。 | ［知技］◎敬語の働きや使い方について理解し，話や文章の中で使っている。  ［主］・進んで敬語の働きや使い方について理解し，見通しを持って敬語を話や文章の中で使おうとしている。 |
| 言葉〈漢字道場〉  他教科で学ぶ漢字⑴  Ｐ52  1時間  他社会・数学・理科・技術・家庭・保健体育 | ［知技］⑴ウ | ・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使う。 | １　問題（Ｐ52）に取り組み，社会，数学，理科，技術，家庭，保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。  ＊他教科の教科書を適宜参照し，その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や，その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。 | ［知技］◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使っている。  ［主］・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し，学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 |
| ３　伝え方を工夫する（6～7月　16時間） | | | | |
| 学びの扉／学びを支える言葉の力〈論理的な言葉の力―整理する力〉  情報を図や表に整理する  Ｐ54／Ｐ230  1時間  他理科 | ［知技］⑵イ  ［思判表］Ｃ⑴イ | ・複雑な情報の整理の仕方を理解し，情報を図や表に整理する。 | １　教材（Ｐ54）を読んで，複雑な情報を理解するにはどうしたらよいかを考える。  ２　基「情報を図や表に整理する」（Ｐ230～233）を読んで，複雑な情報の整理の仕方について理解を深め，情報を囲みや矢印を使って整理したり，表を使って整理したりする。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。  ［思判表］◎「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理している。  ［主］・進んで複雑な情報の整理の仕方を理解し，学習課題に沿って情報を図や表に整理しようとしている。 |
|  |  |  |  |  |
| 読む〈構成・展開〉  ハトはなぜ首を振って歩くのか  Ｐ55  4時間 | ［知技］⑴エ⑵アイ  ［思判表］Ｃ⑴アイウ  Ｃ⑵ア | ・まとまりどうしの関係に注意して文章の構成を捉え，内容を読み取る。  ・文章と図表を結び付けて読み，図表の役割を考える。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ55）や「てびき」の目標（Ｐ62）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　設問①～②（Ｐ62）に取り組み，文章の構成を捉えたり，実験の内容を図や表に整理したりして，内容を読み取る。  ＊前の「情報を図や表に整理する」（Ｐ54／基Ｐ230～233）で学んだことを生かして取り組むとよい。  ４　設問③～④に取り組み，文章中の図や表の役割について話し合ったり，文章の内容を図や矢印を使って説明したりする。  ＊「言葉の力　文章と図表などを結び付けて理解する」を読んで，文章と図表を結び付けて読むときのポイントを理解する。  ５　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ６　「広がる言葉」（Ｐ63）に取り組み，語感を磨き語彙を増やす。  ＊資「言葉を広げよう―比喩的に使われる言葉」（Ｐ333～334）を見て，語彙を増やすための参考にするとよい。  ＊この教材と併せて，資「スズメは本当に減っているか」（Ｐ276～281）を読み，文章の構成や図表の役割，科学的なものの見方について考えるのもよい。 | ［知技］・多義的な意味を表す語句について理解し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［知技］・考えと根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。  ［知技］・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，考えと根拠との関係などを捉えている。  ［思判表］・「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て，内容を解釈している。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈している。  ［主］・進んでまとまりどうしの関係に注意しながら文章の構成を捉え，学習課題に沿って，図や表の役割について話し合ったり，図を使って説明したりしようとしている。 |
| 書く〈伝達〉  郷土のよさを伝えよう―「地域の魅力」の紹介文  Ｐ64  6時間  他社会（地理） | ［知技］⑴アオ  ［思判表］Ｂ⑴アエ  Ｂ⑵イ | ・身近な地域の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを絞り込む。  ・読み手を意識しながら，表現の効果などを確かめて，文章を推敲する。 | １　教材冒頭（Ｐ64）の問いかけと目標を確認し，「学習の流れ」を見て，見通しを持つ。  ２　手順①～⑤（Ｐ65～69）に取り組み，伝えたい「地域の魅力」についての情報を集め，紹介文を書く。  ＊「言葉の力　情報を集める／より効果的に伝わるように推敲する」（Ｐ67，68）を読んで，情報の集め方や，効果的に伝えるための推敲のポイントを確かめる。  ＊資「発想・整理の方法」（Ｐ300）を見て，材料を集めたり整理したりする際の参考にするのもよい。  ＊資「取材の仕方」（Ｐ301）を見て，インタビューする際の参考にするのもよい。  ＊資「著作権について考える」（Ｐ305）を見て，情報を集めたり引用したりする際の参考にするのもよい。  ＊資「原稿用紙の使い方・推敲の観点」（Ｐ304）を見て，推敲する際の参考にするのもよい。  ３　「振り返り」（Ｐ69）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。  ［知技］・文章の構成や展開について理解を深めている。  ［思判表］◎「書くこと」において，目的や意図に応じて，身近な地域の中から題材を決め，多様な方法で集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。  ［思判表］◎「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。  ［主］・積極的に情報を集め，学習の見通しを持って，より効果的に伝わるように紹介文を推敲しようとしている。 |
| 言葉〈文法の窓／文法解説〉  用言の活用―ばらばら動詞カードをかたづけろ  Ｐ70／Ｐ256  2時間 | ［知技］⑴オ | ・単語の活用について理解する。 | １　教材（Ｐ70）を読んで，動詞を活用形によって整理する。また，「考えよう」に取り組む。  ２　基「用言の活用」（Ｐ256～259）を読んで，用言の活用形の種類や，動詞・形容詞・形容動詞それぞれの活用の仕方について理解を深める。また，「問題」１～４（Ｐ259）に取り組む。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎単語の活用について理解している。  ［主］・進んで単語の活用について理解し，学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 言葉〈漢字道場〉  漢字の意味  Ｐ71  1時間 | ［知技］⑴ウ | ・漢字の意味を理解して，漢字を文や文章の中で使う。 | １　問題①～④（Ｐ71）に取り組み，似た意味や反対の意味の漢字の組があること，多くの漢字が複数の意味を持つことなどを理解する。 | ［知技］◎漢字の意味を理解し，漢字を文や文章の中で使っている。  ［主］・進んで漢字の意味を理解し，学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 |
| 読む〈読書〉  卒業ホームラン  Ｐ72  2時間 | ［知技］⑶エ  ［思判表］Ｃ⑴オ  Ｃ⑵イ | ・読書の意義を知り，おすすめの本の魅力を紹介し合う。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ72）と「ビブリオバトルをしよう」（Ｐ88）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　「卒業ホームラン」全文を通読し，登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているか，話し合う。適宜，漢字を確認する。  ３　「ビブリオバトルをしよう」を参考に，ビブリオバトルでおすすめの本を紹介し合う。  ＊これまでに読んだ本や，「本で世界を広げよう〈考え方・生き方〉」（Ｐ86～87）で紹介されている本を活用してもよい。  ＊資「私のおすすめの本」（Ｐ285），「本の世界を楽しもう」（Ｐ286～289）を見て，今後の読書生活の参考にするのもよい。 | ［知技］◎本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで読書の意義について理解を深め，これまでの学習を生かして，自分のおすすめの本の魅力を伝えようとしている。 |
| ４　説得力を高める（9～10月　20時間） | | | | |
| 読む〈吟味・判断〉  黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会  Ｐ90  5時間  他社会（公民）・美術 | ［知技］⑴エ，⑵ア  ［思判表］Ｃ⑴エオ  Ｃ⑵ア | ・文章を読み比べて，論の進め方について考える。  ・文章の内容について，自分の知識や体験と結び付けて考えを深める。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ90）や「てびき」の目標（Ｐ98）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　「黄金の扇風機」全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　「サハラ砂漠の茶会」全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ４　設問①～②に取り組み，それぞれの筆者がどのような根拠からどのような主張をしているかを読み取る。  ５　設問③に取り組み，二つの文章の内容を踏まえて，「美」について，条件に従って自分の考えを書く。  ＊「言葉の力　読み比べて考えを深める」を読んで，複数の文章を読み比べるときのポイントを理解する。  ６　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ７　「広がる言葉」（Ｐ99）に取り組み，語感を磨き語彙を増やす。  ＊資「言葉を広げよう―接頭語・接尾語を伴う言葉」（Ｐ334）を見て，語彙を増やすための参考にするとよい。 | ［知技］・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［知技］・考えと根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。  ［思判表］◎「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較し，文章の構成や論理の展開について考えている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで文章を読み比べ，学習課題に沿って，自分の体験や経験をもとに自分の考えを書こうとしている。 |
| 学びの扉／学びを支える言葉の力〈論理的な言葉の力―分析する力〉  論証の説得力を見極める  Ｐ100／Ｐ234  1時間 | ［知技］⑵ア  ［思判表］Ｂ⑴ウ | ・論証の組み立てを捉え，説得力があるかどうかを吟味する。 | １　教材（Ｐ100）を読んで，考えの説得力をどのように見極めたらよいかを考える。  ２　基「論証の説得力を見極める」（Ｐ234～237）を読んで，論証の説得力について理解を深め，結論と根拠の関係を吟味する。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎説得力のある結論と根拠の関係について理解している。  ［思判表］◎「書くこと」において，根拠の正しさや，結論と根拠の結び付きの適切さに注意して，論証を吟味している。  ［主］・進んで論証の説得力について理解し，学習課題に沿って結論と根拠の関係を吟味しようとしている。 |
| 書く〈論証・説得〉  根拠を吟味して書こう―「地図」の意見文  Ｐ101  6時間  他社会（地理） | ［知技］⑴オ，⑵ア  ［思判表］Ｂ⑴イウ  Ｂ⑵ア | ・自分の考えが伝わる文章になるよう，根拠の適切さについて吟味する。  ・文章の構成を工夫し，分かりやすくて説得力のある意見文を書く。 | １　教材冒頭（Ｐ101）の問いかけと目標を確認し，「学習の流れ」を見て，見通しを持つ。  ２　手順①～⑤（Ｐ102～105）を読んで，分かりやすくて説得力のある意見文の書き方を確認する。  ＊「言葉の力　根拠を吟味する／分かりやすい構成で意見文をまとめる」（Ｐ103，105）を読んで，根拠を吟味するポイントや，意見文に適した構成を確かめる。  ＊前の「論証の説得力を見極める」（Ｐ100／基Ｐ234～237）で学んだことを生かして取り組むとよい。  ３　手順①～⑤に従って「問題」（Ｐ106）に取り組み，根拠を吟味して意見文を書く。  ４　「振り返り」（Ｐ106）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・文章の構成や展開について理解を深めている。  ［知技］・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。  ［思判表］◎「書くこと」において，伝えたいことが分かりやすく伝わるように，段落相互の関係などを明確にし，文章の構成や展開を工夫している。  ［思判表］◎「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。  ［主］・根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み，学習の見通しを持って，分かりやすくて説得力のある意見文を書こうとしている。 |
| 話す・聞く〈話す〉  説得力のある提案をしよう―プレゼンテーション  Ｐ107  5時間 | ［知技］⑴アオ，⑵アイ  ［思判表］Ａ⑴イウ  Ａ⑵ア | ・聞き手に納得してもらうために，説得力のある話の構成を考える。  ・資料や機器を活用して，分かりやすく印象的に話す。 | １　教材冒頭（Ｐ107）の問いかけと目標を確認し，「学習の流れ」を見て，見通しを持つ。  ２　手順①～⑤（Ｐ108～112）に取り組み，グループごとに提案を決めてプレゼンテーションをする。  ＊「言葉の力　説得力のある話の構成を考える／資料や機器を活用する」（Ｐ109，110）を読んで，説得力のある話の組み立て方や，資料や機器を生かした発表の仕方を確かめる。  ３　「振り返り」（Ｐ112）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］・言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。  ［知技］・話の構成や展開について理解を深めている。  ［知技］・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。  ［知技］・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。  ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えが明確になるように，根拠の適切さや論理の展開などに注意して，話の構成を工夫している。  ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，資料や機器を用いるなどして，自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。  ［主］・説得力のある話の構成を考えることに粘り強く取り組み，学習の見通しを持って，資料や機器を活用したプレゼンテーションをしようとしている。 |
| 言葉〈文法の窓／文法解説〉  助詞―文よ，助詞で大きく育て  Ｐ113／Ｐ260  1時間 | ［知技］⑴オ | ・助詞の働きについて理解する。 | １　教材（Ｐ113）を読んで，多くの助詞を使った文を作る。また，「考えよう」に取り組む。  ２　基「助詞」（Ｐ260～261）を読んで，助詞の種類や働きについて理解を深める。また，「問題」１～２（Ｐ261）に取り組む。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎助詞の働きについて理解している。  ［主］・進んで助詞の働きについて理解し，学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 言葉〈漢字道場〉  同訓異字  Ｐ114  1時間 | ［知技］⑴ウエ | ・同訓異字について理解し，話や文章の中で適切に使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 | １　「用言の同訓異字」（Ｐ114～115）を読んで，動詞には同訓異字が多くあることを知り，「問題」①～②に取り組む。  ２　「体言の同訓異字」（Ｐ115）を読んで，体言にも同訓異字があることを知り，「問題」③に取り組む。 | ［知技］・同訓異字について理解し，漢字を文や文章の中で使っている。  ［知技］◎同訓異字について理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［主］・進んで同訓異字について理解し，見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 読む〈詩（日本語のしらべ）〉  落葉松  Ｐ116  1時間 | ［思判表］Ｃ⑴ア  Ｃ⑵イ | ・詩に描かれた情景や心情を捉え，リズムを感じ取りながら朗読する。 | １　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。  ＊古語や文語文法による表現については，適宜，意味を確認する。  ２　詩に描かれた情景や心情を捉え，リズムを感じ取りながら朗読する。  ３　「詩人と作品」（Ｐ118）を読み，北原白秋について知る。 | ［思判表］◎「読むこと」において，詩全体と部分との関係に注意しながら，場面の設定の仕方などを捉えている。  ［主］・進んで詩に描かれた情景や心情を捉え，学習課題に沿って朗読しようとしている。 |
| ５　伝統文化を味わう（10～11月　17時間） | | | | |
| 古典  枕草子・徒然草  Ｐ120  4時間  他社会（歴史） | ［知技］⑶イ  ［思判表］Ｂ⑴ウ，Ｃ⑴エ | ・筆者のものの見方や考え方，表現の仕方を捉える。  ・見聞きしたことや体験したことをもとに，表現を工夫して随筆を書く。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ120）や「てびき」の目標（Ｐ127）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　「枕草子・徒然草」の解説（Ｐ120）を読み，随筆の特徴を知る。そのうえで，「春はあけぼの」（Ｐ120～121）を読む。適宜，漢字を確認する。  ３　「枕草子」の解説（Ｐ122）を読み，筆者の人物像や作品の特徴を知る。そのうえで，「九月ばかり」（Ｐ123）を読み，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字を確認する。  ４　設問①（Ｐ127）に取り組み，筆者が「をかし」と感じたものを捉える。  ５　「徒然草」の解説と「つれづれなるままに」（Ｐ124～125）を読み，「徒然草」の筆者の人物像や作品の特徴，「枕草子」の作品世界との違いを知る。そのうえで，「仁和寺にある法師」（Ｐ126）を読み，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字を確認する。  ６　設問②に取り組み，作品に描かれた人物の言動を踏まえて，筆者の考えを捉える。  ＊「古典コラム　係り結び」の内容にも触れ，係り結びについて確認する。  ７　設問③に取り組み，「枕草子」と「徒然草」からよい表現やおもしろい目のつけどころを探して発表し合う。  ８　設問④に取り組み，「枕草子」や「徒然草」に倣って，見聞きしたことや体験したことをもとに，短い随筆を書く。  ９　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ＊この教材と併せて，資「書き手の肖像―清少納言と兼好法師」（Ｐ290～292）を読み，二人の筆者の人物像や，それぞれの作品に込められた思いなどについて理解を深めるのもよい。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を理解している。  ［思判表］◎「書くこと」において，表現の効果を考えて描写するなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。  ［思判表］・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較し，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えている。  ［主］・進んで古典に表れたものの見方や考え方を捉え，学習課題に沿って，表現を工夫しながら随筆を書こうとしている。 |
|  |  |  |  |  |
| 古典  平家物語  Ｐ128  4時間  他社会（歴史） | ［知技］⑶アイ  ［思判表］Ｃ⑴オ | ・表現の特徴に注意して朗読し，古典の世界に親しむ。  ・描かれた状況や心情を読み取り，武士の価値観や生き方について考える。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ128）や「てびき」の目標（Ｐ141）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　「平家物語」の解説（Ｐ128～129）を読み，作品の成り立ちや概要を知る。適宜，漢字を確認する。  ３　「祇園精舎」（Ｐ129）を読み，そこに表れた当時の世界観に触れる。適宜，漢字を確認する。  ＊更に，「『平家物語』の時代に生きた人々とその関係」（Ｐ130），「源平の合戦」（Ｐ131～134）で作品の背景を確かめたり，「敦盛の最期」（Ｐ135），「平家の最期とその後の物語」（Ｐ136）で作品中の他のエピソードを知ったりするのもよい。  ４　「那須与一」（Ｐ137～139）を読み，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字を確認する。  ５　設問①（Ｐ141）に取り組み，表現の特徴に注意して古文を朗読する。  ＊「古典コラム　文体を味わう」を適宜参照し，表現の特徴を確認する。  ６　設問②に取り組み，場面の状況や登場人物の心情について話し合う。  ７　「弓流」（Ｐ140）を読み，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字を確認する。  ８　設問③に取り組み，当時の武士の価値観や生き方について考えたことをまとめる。  ９　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。  ［知技］・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して，古典に表れたものの見方や考え方を知っている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで朗読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って，武士の価値観や生き方について考えをまとめている。 |
| 古典  漢詩  Ｐ142  3時間 | ［知技］⑶ア  ［思判表］Ｃ⑴エ | ・表現の特徴に注意して朗読し，漢詩を味わう。  ・情景を描いた表現の効果について考える。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ142）や「てびき」の目標（Ｐ145）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　「漢詩」の解説（Ｐ142）を読み，漢詩について知る。適宜，漢字を確認する。  ３　「春暁」（Ｐ142）と「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」（Ｐ143）を読み，鑑賞文や脚注を手がかりにして内容を大まかにつかむ。適宜，漢字を確認する。  ４　設問①～③（Ｐ145）に取り組み，朗読・暗唱を通して漢詩を味わい，漢詩に描かれている情景・心情や，表現上の特徴を捉える。  ＊古典コラム「漢詩の形式」を適宜参照し，漢詩の形式を確認する。  ５　「春望」（Ｐ144）についても，３～４の手順で学習する。  ６　設問④に取り組み，漢詩に表れた情景描写の効果について考え，話し合う。  ７　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ＊この教材と併せて，資「望郷の詩―杜甫と李白」（Ｐ293～295）を読み，作者の人物像や作品世界について理解を深めるのもよい。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界に親しんでいる。  ［思判表］◎「読むこと」において，観点を明確にして漢詩を比較するなどし，漢詩の構成や表現の効果について考えている。  ［主］・進んで漢詩を朗読し，学習課題に沿って，情景を描いた表現の効果について話し合おうとしている。 |
| 書く〈通信・手紙〉  依頼状やお礼状を書こう  Ｐ146  3時間  他書写 | ［知技］⑴アカ  ［思判表］Ｂ⑴エ  Ｂ⑵イ | ・読み手を意識して，的確な表現になるように文章を推敲する。 | １　教材冒頭（Ｐ146）の問いかけと目標を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　手順①～②（Ｐ146～147）に取り組み，職場体験の依頼状を推敲し，お礼状を書く。  ＊「言葉の力　手紙を推敲する」（Ｐ146）を読んで，手紙を推敲する際のポイントを確かめる。  ＊手紙を書く際，「時候の挨拶」（Ｐ148）を適宜参考にするのもよい。  ＊手紙の形式については，資「手紙の書き方」（Ｐ302～303）を見て確認する。  ３　「振り返り」（Ｐ147）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］・言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気づいている。  ［知技］・敬語の働きについて理解し，文章の中で使っている。  ［思判表］◎「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。  ［主］・進んで読み手を意識して推敲し，学習課題に沿って依頼状やお礼状を書こうとしている。 |
| 言葉〈文法の窓／文法解説〉  助動詞―絵と助動詞を合わせよう  Ｐ149／Ｐ262  2時間 | ［知技］⑴オ | ・助動詞の働きについて理解する。 | １　教材（Ｐ149）を読んで，示されたイラストと助動詞の組み合わせを考える。また，「考えよう」に取り組む。  ２　基「助動詞」（Ｐ262～265）を読んで，助動詞の種類や意味について理解を深める。また，「問題」１～３（Ｐ265）に取り組む。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］・助動詞の働きについて理解している。  ［主］・進んで助動詞の働きについて理解し，学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 言葉〈漢字〉  他教科で学ぶ漢字⑵  Ｐ150  1時間  他社会・理科・技術・家庭・保健体育 | ［知技］⑴ウ | ・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使う。 | １　問題（Ｐ150）に取り組み，社会，理科，技術，家庭，保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。  ＊他教科の教科書を適宜参照し，その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や，その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。 | ［知技］◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し，漢字を文や文章の中で使っている。  ［主］・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し，学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。 |
| ６　描写を味わう（11～12月　10時間） | | | | |
| 読む〈文学二〉  走れメロス  Ｐ152  6時間 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｃ⑴アイエ  Ｃ⑵イ | ・人物像を捉え，人物の言動について考えながら，作品を読み深める。  ・場面の展開や表現の効果について考える。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ152）や「てびき」の目標（Ｐ169）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　設問①～④（Ｐ169）に取り組み，人物や情景の効果的な描写に着目して作品を読み深める。  ＊「言葉の力　人物像に着目する」を読んで，人物像について理解する。  ４　設問⑤に取り組み，場面の展開や表現の効果について話し合う。  ５　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。  ６　「広がる言葉」（Ｐ170）に取り組み，語感を磨き語彙を増やす。  ＊資「言葉を広げよう―喜怒哀楽を表す言葉」（Ｐ334～335）を見て，語彙を増やすための参考にするとよい。 | ［知技］・喜怒哀楽を表す語句の量を増すとともに，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章全体と部分との関係に注意しながら，登場人物の設定の仕方などを捉えている。  ［思判表］・「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈している。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章の構成や表現の効果について考えている。  ［主］・進んで人物像を捉えながら作品を読み深め，学習課題に沿って，場面の展開や表現の効果について話し合おうとしている。 |
| 書く〈描写・表現〉  人物を描写しよう  Ｐ171  1時間 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｂ⑴ウ  Ｂ⑵ウ | ・人物像が伝わるように，人物の言葉や行動・態度などを描き出す。 | １　目標（Ｐ171）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　教材を読み，人物像が伝わるように作品の続きを書く。  ＊「言葉の力　人物を描き出す」を読んで，人物をいきいきと描き出すためのポイントを確かめる。  ＊資「言葉を広げよう―人物像／喜怒哀楽を表す言葉」（Ｐ332～333，334～335）を見て，登場人物を描写する際の参考にするのもよい。  ３　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・人物像や喜怒哀楽を表す語句の量を増すとともに，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］◎「書くこと」において，表現の効果を考えて描写するなど，人物像が伝わる文章になるように工夫している。  ［主］・進んで学んだ作品の描写に着目し，学習課題に沿って人物を描写しようとしている。 |
| 言葉〈日本語探検〉  類義語・対義語―謎の生物「フワポン」の秘密  Ｐ172  1時間 | ［知技］⑴エ | ・類義語と対義語について理解する。 | １　教材（Ｐ172～173）を読んで，さまざまな類義語や対義語が話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつかむ。  ２　「まとめ」（Ｐ173）を読んで，類義語と対義語について理解する。適宜，漢字を確認する。 | ［知技］◎類義語と対義語について理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［主］・進んで類義語と対義語について理解し，見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 読む〈読書〉  鰹節―世界に誇る伝統食  Ｐ174  2時間  他家庭 | ［知技］⑶エ  ［思判表］Ｃ⑴イ  Ｃ⑵ウ | ・読書の意義を知り，目的に応じて情報を集め，レポートにまとめる。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ174）と「調べて一枚レポートにまとめよう」（Ｐ182）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　「鰹節―世界に誇る伝統食」全文を通読し，鰹節について分かったことや調べてみたいことを話し合う。適宜，漢字を確認する。  ３　「調べて一枚レポートにまとめよう」を参考に，さまざまな本や資料，インターネットで調べて分かったことを，一枚レポートにまとめる。  ＊「情報活用コラム　インターネットで情報を集める」を読み，インターネットで調べる際の留意点を確かめる。  ＊これまでに読んだ本や，「本で世界を広げよう〈日本文化〉」（Ｐ180～181）で紹介されている本を活用してもよい。  ＊資「私のおすすめの本」（Ｐ285），「本の世界を楽しもう」（Ｐ286～289）を見て，今後の読書生活の参考にするのもよい。 | ［知技］◎本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。  ［思判表］◎「読むこと」において，目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て，内容を解釈している。  ［主］・進んで読書の意義について理解を深め，これまでの学習を生かして，調べたことをレポートにまとめようとしている。 |
| ７　効果的に表現する（1～3月　26時間） | | | | |
| 読む〈言葉とメディア〉  「正しい」言葉は信じられるか  Ｐ184  5時間 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｂ⑴エ，Ｃ⑴エ  Ｃ⑵ア | ・文章を読んで，事実の述べ方が読み手に与える印象の違いについて考える。  ・構成や表現を工夫して，新聞記事を書き換える。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ184）や「てびき」の目標（Ｐ190）を確認し，「学習の流れ」（Ｐ184）を見て，見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字や語句を確認する。  ３　設問①～②（Ｐ185，186）に取り組み，文章の内容を読み取る。  ４　設問③（Ｐ190）に取り組み，Ａ新聞，Ｂ新聞（Ｐ187）のそれぞれで使われている語句の与える印象について考える。  ５　設問④に取り組み，構成や表現を工夫して新聞記事を書き換える。  ６　設問⑤に取り組み，事実の述べ方による印象の違いについて話し合う。  ＊「言葉の力　事実と言葉の関係を意識する」を読んで，事実と言葉の関係について理解する。  ７　「振り返り」を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］◎「書くこと」において，読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整えている。  ［思判表］◎「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較し，文章の構成や表現の効果について考えている。  ［主］・積極的に構成や表現を工夫しながら新聞記事を書き換え，学習課題に沿って，事実の述べ方による印象の違いについて考えようとしている。 |
| 学びの扉／学びを支える言葉の力〈論理的な言葉の力―議論する力〉  質問する・反論する  Ｐ192／Ｐ238  1時間 | ［知技］⑵ア  ［思判表］Ａ⑴オ | ・発言や論証を吟味し，質問したり反論したりする。 | １　教材（Ｐ192）を読んで，詩織の父の発言を理解するにはどのような質問をしたらよいかを考える。  ２　基「質問する・反論する」（Ｐ238～241）を読んで，質問や反論の仕方について理解を深め，発言を理解するために質問したり，水かけ論にならないように反論したりする。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［知技］◎結論と根拠の関係や，その説得力について理解している。  ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，発言や論証を吟味し，質問したり反論したりしている。  ［主］・進んで発言や論証を吟味し，学習課題に沿って質問したり反論したりしようとしている。 |
| 話す・聞く〈話し合う〉  話し合いで問題を検討しよう―リンクマップによる話し合い  Ｐ193  6時間 | ［知技］⑵アイ  ［思判表］Ａ⑴アオ  Ａ⑵イ | ・多様な立場や意見を想定して，テーマについてのメリット・デメリットを出し合う。  ・お互いの立場や意見を尊重しながら話し合い，結論を出す。 | １　教材冒頭（Ｐ193）の問いかけと目標を確認し，「学習の流れ」を見て，見通しを持つ。  ２　手順①～③（Ｐ194～197）に取り組み，テーマを決め，リンクマップを使って話し合い，グループの意見をまとめる。  ＊「言葉の力　テーマを検討するために，メリット・デメリットを書き出す／テーマについて検討し，結論を出す」（Ｐ194，196）を読んで，テーマを決めてメリットとデメリットを出し合ったり，テーマについて検討して一つの結論を出したりする際のポイントを確かめる。  ＊前の「質問する・反論する」（Ｐ192／基Ｐ238～241）で学んだことを生かして取り組むとよい。  ３　「振り返り」（Ｐ197）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・意見と根拠，具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。  ［知技］・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。  ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，目的に応じて社会生活の中から話題を決め，異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。  ［思判表］◎「話すこと・聞くこと」において，お互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。  ［主］・積極的にテーマについてのメリット・デメリットを出し合い，学習の見通しを持って，お互いの立場や意見を尊重しながら話し合おうとしている。 |
| 学びの扉／学びを支える言葉の力〈文学的な言葉の力―表現する力〉  想像を誘うように表現する  Ｐ198／Ｐ246  1時間 | ［思判表］Ｂ⑴ウ | ・描き方を工夫して，想像を誘う表現をする。 | １　教材（Ｐ198）を読んで，興味をひきつける表現の仕方について考える。  ２　基「想像を誘うように表現する」（Ｐ246～249）を読んで，想像を誘う表現の仕方について理解を深め，状況が徐々に見えてくるように描写する。  ＊Ｄこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。 | ［思判表］◎「書くこと」において，表現の効果を考えて描写している。  ［主］・進んで想像を誘う表現の仕方について理解し，学習課題に沿って，状況が徐々に見えてくるように描写しようとしている。 |
| 書く〈感性・想像〉  いきいきと描き出そう―短歌から始まる物語  Ｐ199  6時間 | ［知技］⑴エ  ［思判表］Ｂ⑴ウオ  Ｂ⑵ウ | ・人物や情景をいきいきと表すように，描写を工夫して物語を作る。  ・描写の工夫などについて，読み手からの助言を踏まえ，自分の物語のよい点や改善点を見いだす。 | １　教材冒頭（Ｐ199）の問いかけと目標を確認し，「学習の流れ」を見て，見通しを持つ。  ２　手順①～⑤（Ｐ200～205）に取り組み，短歌から想像を膨らませて物語を創作する。  ＊「言葉の力　豊かに描写する／感想交換の観点を持つ」（Ｐ203，205）を読んで，想像を誘う豊かな描写の仕方や，作品を読んで感想を交換する際のポイントを確かめる。  ＊前の「想像を誘うように表現する」（Ｐ198／基Ｐ246～249）で学んだことを生かして取り組むとよい。  ＊資「言葉を広げよう―人物像を表す言葉」（Ｐ332～333）を見て，登場人物の人物像を考える際の参考にするのもよい。  ＊創作の材料として，短歌以外に，俳句，写真，絵画などを用いてもよい。  ３　「振り返り」（Ｐ205）を読み，学習を振り返って，学んだことを自分の言葉でまとめる。 | ［知技］・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［思判表］◎「書くこと」において，表現の効果を考えて描写するなど，魅力的な文章になるように工夫している。  ［思判表］◎「書くこと」において，表現の工夫とその効果などについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。  ［主］・描写を工夫したり，読み手の助言を踏まえて改善点を見いだしたりすることに粘り強く取り組み，学習の見通しを持って物語を書こうとしている。 |
| 言葉〈漢字道場〉  同音異義語  Ｐ206  1時間 | ［知技］⑴ウエ | ・同音異義語について理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにする。 | １　「共通する漢字を持つ同音異義語」（Ｐ206）を読んで，共通する漢字を持つ同音異義語について知り，「問題」①～②に取り組む。  ２　「共通する漢字を持たない同音異義語」（Ｐ207）を読んで，共通する漢字を持たない同音異義語について知り，「問題」③～④に取り組む。 | ［知技］・同音異義語について理解し，漢字を文や文章の中で使っている。  ［知技］◎同音異義語について理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  ［主］・進んで同音異義語について理解し，見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。 |
| 読む〈詩（詩の言葉）〉  わたしが一番きれいだったとき  Ｐ208  2時間  他社会（歴史） | ［思判表］Ｃ⑴イオ  Ｃ⑵イ | ・人物の心情に注意して，詩に込められた思いを考える。  ・自分の知識や経験と結び付けながら，感想を深める。 | １　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。  ２　それぞれの連の言葉にどんな心情が表されているかを捉える。また，各連で繰り返される「わたしが一番きれいだったとき」という言葉に込められた思いを考える。  ３　この詩に表れているものの見方や考え方について，自分の知識や経験と結び付けながら感想を話し合う。 | ［思判表］◎「読むこと」において，人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈している。  ［思判表］◎「読むこと」において，詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで詩に込められた思いについて考え，学習課題に沿って感想を話し合おうとしている。 |
| 読む〈読書〉  坊っちゃん  Ｐ210  4時間  他社会（歴史） | ［知技］⑶エ  ［思判表］Ｃ⑴オ  Ｃ⑵イ | ・文学作品を読み，登場人物の行動や人柄，考え方について考えを深める。 | １　タイトル下の問いかけ（Ｐ210）を確認し，学習の見通しを持つ。  ２　全文を通読し，内容を大まかにつかむ。適宜，漢字を確認する。  ３　登場人物の行動や人柄，考え方についてどう思うか話し合う。  ４　「作家と作品」（Ｐ222～223）を読み，夏目漱石について知る。  ５　「名作を読もう」（Ｐ224～225）を見て，日本や海外の文学作品を知り，読書意欲を高める。  ＊資「私のおすすめの本」（Ｐ285），「本の世界を楽しもう」（Ｐ286～289）を見て，今後の読書生活の参考にするのもよい。 | ［知技］◎本や文章などには，さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り，自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。  ［思判表］◎「読むこと」において，文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりしている。  ［主］・進んで読書の意義について理解を深め，これまでの学習を生かして，さまざまな本を読もうとしている。 |